

科学研究費補助金・新学術領域

「気候系の hot spot:熱帯と寒帯が近接するモンスーンアジアの大気海洋結合変動」

2011 年度全体会議プログラム

開催日:2011 年 8 月 2 日(火)~8 月 4 日(木)

会場: 北海道大学大学院地球環境科学研究院 D101、D201 室

連絡事項:

お陰様で、102 名の方に参加申し込みをいただき、口頭・ポスター発表、各種の議論の時間と盛況かつ充実した全体会議となるかと思えます。

一方、充実さを反映してプログラムに時間的なゆとりはほとんどありません。円滑な運営のために、発表の時間厳守をお願いいたします。発表者の持ち時間は、一つ前の発表者が終了した瞬間から始まります。発表者の交替に1分必要であることを見込んでご準備ください。また 25 分発表は、5 分を質疑に、15 分発表は 3 分を質疑に残してください。持ち時間が切れた場合は、スライドの途中であってもそこで終了とさせていただきますので、特に複数の発表者で発表されるグループはご注意ください。

また、口頭発表会場のコンセント電源容量は全体で 2000W と非常に小さく、ノート PC への給電等ご希望に添えないことがあると思えますが、ご理解ください。

ポスターボードは、175 cm タテ、110 cm ヨコ、となっています。ボードの他にホワイトボードなども利用します。ポスターを貼るためのピンなどはこちらで用意します。

懇親会費・弁当代は受付時に申し受けます。懇親会は初日が社会人 6000 円(学生 3000 円)、二日目が社会人 4000 円(学生 2000 円)、弁当代は 500 円となっています。できるだけ釣銭が不要なようにご用意ください。

また以下に書きました、座長はまだ案の段階で、変更があり得ます。

2011 年 8 月 2 日(火)

座長:見延 庄士郎

13:00~13:10 中村 尚(東大)「挨拶・総括班」

A01 モンスーンアジア縁辺海における大気海洋相互作用

13:10~13:35 A01-1 磯辺篤彦(愛媛大)

「縁辺海の海洋構造に励起される大気海洋相互作用と海洋生態系への影響 — 黄海・東シナ海、および日本海での大気海洋相互作用 -A01-1 班の進捗-」

13:35~14:00 A01-2 立花義裕・西川はつみ(三重大)・山本勝(九州大)

「縁辺海が大気の擾乱・雲形成・大規模循環に果たす役割」

A02 北西太平洋における大気海洋相互作用とモンスーンシステム

14:00~14:25 A02-3 早坂忠裕(東北大学)

「雲・放射エネルギーを介したモンスーンアジアの大気海洋相互作用」

14:25~14:50 A02-4 飯塚 聡(防災研)、富田智彦(熊本大)、川村隆一(富山大)

「東アジアモンスーン変動と黒潮・黒潮続流との双方向作用のメカニズム — 中緯度 SST とアジアモンスーンの理解—」

14:50～15:05 休憩

座長:三寺 史夫

15:05～15:30 A02-5 中野英之, 碓氷典久(気象研究所), 細田滋毅, 野中正見(JAMSTEC)

「黒潮続流循環系の形成・変動メカニズムと大気・海洋生態系への影響 —および Argo 観測による混合層と貯熱量の海盆規模分布—」

15:30～15:55 A02-6 川合義美(JAMSTEC)、植原 量行(東海大)

「黒潮・親潮続流域における相互作用の現場観測」

A03 大規模気候系における大気海洋雪氷相互作用

15:55～16:20 A03-7 見延 庄士郎(北大)

「太洋スケール相互作用 —さらなる発見とメカニズムの理解に向けて—」

16:20～16:35 休憩

座長:谷本 陽一

16:35～17:00 A03-9 中村 尚(東大)

「モンスーン・アジアにおける大気海洋雪氷系の鉛直結合変動」

17:00～17:25 A03-8 三寺史夫(北大)、古関俊也(シンガポール南洋国立工科大)

「オホーツク海・北極域における大気海洋海氷相互作用」

公募班

17:25～17:40 A01-K1 相木 秀則(JAMSTEC)

「非静力大気海洋結合モデルを用いた台風等の数値的研究」

17:40～17:55 A01-K2 吉江 直樹(愛媛大)

「縁辺海の大気海洋相互作用が海洋生態系に及ぼす影響の評価」

17:55～18:10 A01-K3 和田 章義(気象研)

「成熟期の台風の強度・構造変化と海洋との相互作用の解明」

18:10～18:20 若土正暁

「講評と基盤 S『オホーツク海と北太平洋亜寒帯域をつなぐ熱塩/物質循環システムの実態解明』の紹介」

18:20～18:40 一日目発表に関する討論

19:00～ 懇親会(アスペンホテル)

8月3日(水)

座長:青木 邦弘

9:00~ 9:15 A02-K4 岩坂 直人 (東京海洋大)

「黒潮続流南方海域混合層長期変動の研究」

9:15~ 9:30 A02-K5 根田 昌典 (京都大)

「大気海洋間の運動量交換過程に対する波浪とエネルギー散逸の影響に関する研究」

9:30~ 9:45 A03-K6 杉本 周作 (東北大)

「黒潮親潮混合域における海面乱流熱フラックス変動に果たす海面水温変動機構の解明」

9:45~10:00 休憩

10:00~11:30 ポスター発表

11:30~11:40 写真撮影

11:40~12:40 昼食(事前申し込みで希望者に弁当を手配, 1個 500円)

& 若手研究者連絡会ランチミーティング

支援チーム

座長:佐々木 克徳

12:40~13:00 モデル支援チーム

13:00~13:20 観測支援チーム

関連・国際プログラム等の紹介(発表7分, 質疑3分)

13:20~13:30 小池 真: 基盤 S

13:30~13:40 裘 波

13:40~13:50 謝 尚平: 中国のプロジェクト

13:50~14:00 須賀 利雄: CLIVAR

14:00~14:10 見延 庄士郎: PICES の十年変動ワーキング・グループ

14:10~14:30 評価委員のコメント(安成)と二日目発表に関する討論

14:30~14:45 休憩

14:45~16:15 研究項目グループ(A01, A02, A03) 研究方針討議

16:15~16:30 休憩

16:30~18:00 各 WG 毎に議論

19:00~ 懇親会(すすきの方面)

8月4日(木)

座長:野中 正見

研究項目、WG & YHS 報告(発表7分, 質疑3分)

9:00~ 9:10 A01 方針報告

9:10~ 9:20 A02 方針報告

9:20~ 9:30 A03 方針報告

9:30~ 9:40 夏季モンスーン WG 報告(富田・児玉・中村(知))

9:40~ 9:50 冬季モンスーン WG 報告(高谷・立花)

9:50~10:00 海洋前線, ジェット WG 報告(木田・三寺・(中村(知)))

10:00~10:10 太平洋十年変動 WG 報告(田口・見延)

10:10~10:25 若手研究者連絡会(YHS, young hot spotters)報告

10:25~10:40 休憩

座長:高谷 康太郎

10:40~11:40 評価委員コメント(今脇・花輪)と総合討論

11:40~11:50 中村 尚(東大)「閉会の挨拶」

全体会議終了

11:50~13:00 昼食

13:00~15:00 総括班(+支援チーム)会議

全日程終了

【ポスター発表】

1. 「黒潮大蛇行と非大蛇行が日本南岸の気候に与える影響」(A01-1)
中村啓彦(鹿児島大)
2. 「瀬戸内海の高陸風分布に与える海面水温の影響」(A01-1)
郭新宇ほか(愛媛大)
3. 「Argo データを用いた東部亜熱帯モード水形成海域における混合層の変動特性に関する研究」(A01-1)
加古真一郎・西武弘(鹿児島大)
4. 「冬季黒潮前線を横断する XBT-ゾンデ同時観測」(A01-1)
笠毛健生(愛媛大学)ほか
5. 黒潮が梅雨前線に及ぼす影響: 事例解析 (A01-2)
児玉安正(弘前大学)
6. 不均質雲場の放射特性ダウンスケーリング手法の開発 (A02-3)
岩淵弘信(東北大学)
7. 黒潮/黒潮続流域における冬季の降水活動の経年変化(A02-4)
佐藤尚毅(東京学芸大学)、齊藤崇裕
8. 日本の春季における大規模降水を伴う低気圧活動の動態(A02-4)
早崎将光、川村隆一(富山大学)
9. 北太平洋 1/30 度海洋シミュレーション -サブメソスケール現象の研究に向けて-(A02-5)
佐々木英治(JAMSTEC)
10. 渦熱輸送の黒潮続流への影響 — OFES を用いた解析 (A02-5)
青木 邦弘(北大・院・環境), 久保川 厚(北大・院・環境), 見延 庄士郎(北大・院・理), 谷本 陽一(北大・院・環境), 笹井 義一(JAMSTEC)
11. 北太平洋亜寒帯前線の十年規模変動に対する大気応答の季節性 (A02-5)
田口文明(JAMSTEC), 中村尚(東大/JAMSTEC), 野中正見, 小守信正, 吉田聡, 高谷康太郎(JAMSTEC), 後藤敦史(気象庁)
12. OFES を用いた物質循環・生態系変動解析 (A02-5)
笹井義一(JAMSTEC)
13. 準地衡流モデルにおける西岸境界流の早期離岸とジェットの緯度 (A02-5)
陶泰典(北大・環境), 久保川厚(北大・地球環境)
14. 黒潮続流の自励的変動 (A02-5)
野中正見、田口文明、佐々木英治(JAMSTEC)、中村尚(東大/JAMSTEC)
15. 黒潮続流北側海域における海洋表層の乱流運動エネルギー散逸率の日変動 (A02-6)
植原量行(東海大海洋学部海洋地球科学科)
(連名: 岡英太郎(東大 AORI), 根田昌典(京大院理学),
小橋史明・岩坂直人(東京海洋大海洋工),
谷本陽一(北大院地球環境), 轡田邦夫・久保田雅久(東海大海洋))
16. Ocean surface mixed layer heat budget south of Africa (仮) (A02-6)
Vincent Faure(JAMSTEC)
17. 黒潮続流域における cross-front 大気・海洋・海面フラックス変動(仮)(A02-6)
富田裕之(JAMSTEC)

18. 2010年6月の黒潮・親潮続流域の大気乱流構造のLESシミュレーション(A03-7)
大淵 濟(海洋機構・ESC), 中西幹郎(防衛大・地球海洋), 西川はつみ(三重大・生物資源), 立花義裕(三重大・生物資源)
19. 日本周辺における冬季の温帯低気圧頻度(A03-7)
稲津 將・寺倉和敬(北大・理)
20. OFESによる黒潮続流の十年スケール変動:thin-jet theoryの適用(A03-7)
佐々木 克徳(北大・理), Niklas Schneider(IPRC/ハワイ大)
21. 領域大気モデル中の湾流に対する境界層応答(A03-7)
高玉孝平(北大・理), 見延庄士郎(北大・理), 稲津將(北大・理)
22. 湾流と黒潮における降水の日周期解析した
竹林将吾(北大・理), 見延庄士郎(北大・理)
23. 隣接閉領域トラッキングによる台風トラック
佐竹祐哉(北大・理), 稲津將(北大・理)
24. 2011年6月東シナ海黒潮上の大気海洋相互作用観測速報(A03-7)
森 信行(北大・理), 見延 庄士郎(北大・理), 中村 浩彦(鹿児島大・水), 佐々木 克徳(北大・理), 高玉 孝平(北大・理), 仁科 文子(鹿児島大・水), 笠毛 健生(愛媛大・沿岸環境セ), 岩崎 慎介(愛媛大・沿岸環境セ), 磯辺 篤彦(愛媛大・沿岸環境セ)
25. (仮) Patterns of multi-decadal variability of Antarctic Sea Ice Extent revealed by CFES output(A03-8)
C.C. Bajish, S. Aoki(北海道大学), N. Komori, and, B. Taguchi(JAMSTEC)
26. Rainband along the Kuroshio in the East China Sea(A03-8)
美山透(JAMSTEC)
27. 西太平洋パターンと極域成層圏気温の低下(A03-8)
西井和晃(東京大学)
28. 北太平洋の十年規模変動の長期変調(A03-8)
宮坂貴文(東京大学)
29. KOE領域における梅雨/秋雨前線の季節進行(A03-8)
佐藤大卓(東京大学)
30. 衛星リモートセンシングデータを用いた海氷変動の解析(A03-9)
木村詞明(東京大学)・山口一
31. 北極海の海氷変動に関連する地表面の風の役割(A03-9)
小木雅世(JAMSTEC)
32. Modeling Low-Level Clouds over the Okhotsk Sea in Summer: Cloud Formation Process(A03-9)
古関俊也(シンガポール南洋国立工科大学)・中村知裕・三寺史夫(北海道大学)
33. The formation mechanism of a thick snow band over the Sea of Okhots(A03-9)
Yakkala, Yagnesh Raghava, T. Nakamura, H. Mitsudera(北海道大学)